

(2) 東北



東北地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

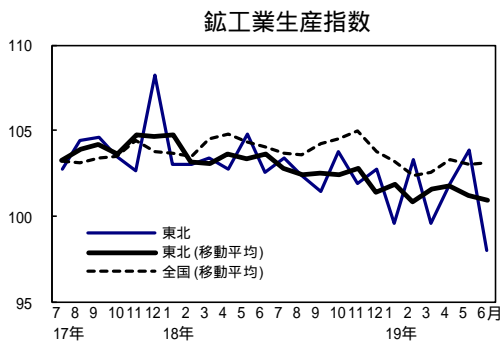
前回からの主要変更点

なし

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

4 - 6月期には、電子部品・デバイス、複合部品等が減少したことにより、減少した。食料品は、清涼飲料等が減少したことにより、減少した。化学・石油製品は、ガソリン等が減少したことにより、減少した。輸送機械は、駆動伝導・操縦装置部品が増加したことにより、増加した。生産用機械は、旋盤等が減少したことにより、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	15.3	7.6	1.0	5.1	8.0	0.3
食料品	11.0	1.2	2.0	3.0	5.8	2.0
化学・石油製品	9.1	9.5	1.1	6.5	5.3	11.2
輸送機械	7.9	7.7	0.7	3.4	6.3	7.5
生産用機械	6.7	7.6	0.6	7.5	8.6	14.6
鉱工業	100.0	1.9	0.5	2.3	2.0	5.7

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。

2. 全国及び東北の大線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は底堅く推移している。

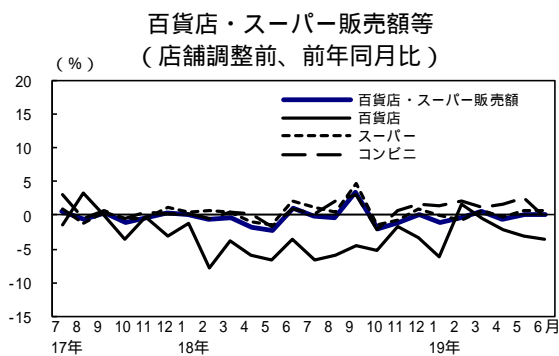
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.8%減、5月は同0.4%増、6月は同0.3%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、飲食料品に動きがみられたものの、衣料品等が減少したことから前年を下回った。5月は、衣料品や飲食料品等が減少したことから、前年を下回った。6月は、衣料品及び飲食料品共に減少したことから、前年を下回った。

スーパーは、4 - 6月期は、飲食料品が増加したことにより、前年を上回った。

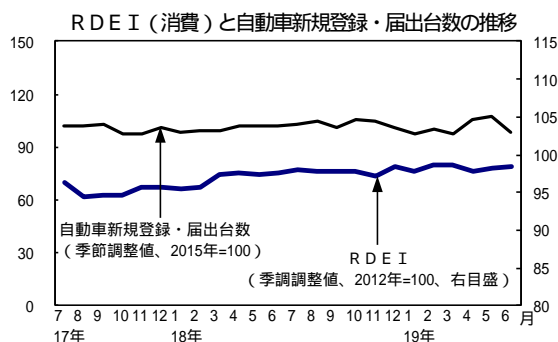


	2019年4-6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	0.3	0.8	0.4	0.3
百貨店・スーパー(*2)	0.1	0.6	0.1	0.1
百貨店(*2)	2.9	2.2	3.1	3.5
スーパー(*2)	0.4	0.3	0.7	0.8
コンビニ(*2)	1.4	1.7	2.6	0.2
乗用車(*3)	1.4	4.9	5.6	5.0
(季節調整値)(*3)	5.0	8.6	1.0	8.4

(備考) 1. 季節調整前(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。

